

冬期間における国際チャーター便の運航について

観光振興課

1 韓国

(1) 概要

平成29年1月16日から2月6日までの間、大韓航空が韓国からのインバウンド用チャーター便10往復18便を運航した。延べ2,364名が利用し、平均搭乗率は95.2%となっている。

(2) 使用機材

B737-800 (138席)

2 台湾

(1) 概要

平成29年2月26日から3月14日までの間、合わせて7往復13便が運航される見通しとなっている。

(2) 航空会社別内訳

① 遠東（ファーイースタン）航空

運航日：2月26日、3月2日、6日、10日、14日

運航便数：5往復9便予定

使用機材：MD83 (約150席)

② エバー航空

運航期間：3月2日、5日

運航便数：2往復4便（ツーウェイチャーター便）

使用機材：A320 (約180席)

【参考：平成28年度国際チャーター便の運航実績】

季節	国	韓国			台湾		
		便数	利用者数	平均搭乗率	便数	利用者数	平均搭乗率
春		2便	280人	88.1%	14便	2,153人	89.2%
夏		—	—	—	4便	530人	84.4%
秋		2便	386人	88.5%	28便	4,253人	90.1%
冬		18便	2,364人	95.2%	(13便)		
計		22便	3,030人	93.6%	46便	6,936人	89.4%

※冬季台湾チャーター便は見込みを記載